



学校だより

在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

Joyful JSJ (J.J.J)

平成29年11月1日

NO. 8

「勝ちたいんやっ！」

校長 角 保宏

10月22日(日)、Pasir Gudangグラウンドにおいて第5回JB日本人ソフトボール大会が盛大に開催され、JB在住の日本人で結成された8チーム約160名(応援を含めると250名以上)もの多くの人たちが朝早くから一堂に集まり、大熱戦を繰り広げた。我がJSJティーチャーズは、少なくとも過去3年間一度も勝利の美酒を味わうことなく、「今年こそ勝ちたい!!」という熱い思いで猛練習に励み、この日の試合に臨んだ。しかし、初戦相手のA月Zチームにはヤング・パワーに撃破され、続く順位決定トーナメント初戦のSHIMANOチームにも1対8と大差で敗れ、JBタイガースMとの最下位決定戦の試合を残すのみとなった。最終戦試合前のベンチで、意気消沈気味のチーム全員に対し、松山キャプテンからの檄が飛んだ。『最後、思い残すことなく、勝っていい形で終わらしましょう。』この一言がチームに勇気を与えたことは言うまでもない。強気のキャプテンがジャンケンで先攻を選択し、初回4点の大量得点をもぎ取った。先制点から生み出された土田投手の余裕のある落ち着いたピッチングも功を奏した。3回にはさらに4点を追加し、大量8点リードでゲーム中盤を迎えた。終盤相手チームの大逆襲を三遊間の連続超ファインプレーでしのぎ、JSJティーチャーズは念願の初勝利を飾った。

次の日、この試合結果を改めてじっくりと振り返ってみた。その時、星野仙一著『夢命を懸けたV達成への647日』(角川書店)に記されていた文章をふと思い出した。万年最下位で「ダメ虎」と呼ばれていた阪神タイガースを就任僅か2年という短期間で'03年のセ・リーグ覇者に育て上げた星野仙一阪神タイガース元監督であるが、今回のJB日本人ソフトボール大会の結果にも通じる部分があると思うので、是非皆さんにその本の中身を紹介したい。

プロローグで星野元監督は、まず次のように語っている。周りは「星野の改革や、改革や」っていつてくれるけれど、考えてみたら特別なことをやってきたんでもない。あたりまえのことをあたりまえにやってきただけなんや。誰が考えてもやらなくてはいけないこと、あたりまえのことをあたりまえにやってきただけなんや。ただし、本気でー。(中略)なんでもあたりまえのことを、いつもあたりまえにやったら滅多なことではおかしくならんもんや。それが阪神タイガースの監督としての今の実感なんですわ。

星野元監督がその著書で述べる「あたりまえ」とは、一体どのようなことなのか。それを抜き書きしてみると。

- ・ 勝利への意欲、競争心の高揚・拡大、「勝ちたいんやっ」という執念、みんなで気持

ちを一つにして一致協力して戦おう、こういった意識づけを選手にたたき込んだ。

- なすべきことは何かということを見出し、どの順番に取り組んでいけばよいかを考えた。（目標の設定とその手順）
- 漠然たる練習を排除した。グラウンドに立ったら常に緊張感を保つための練習を常日頃からするよう選手に徹底した。
- もたもたしない。日常の動作を素速くさせた。「早うせいっ。」
- 気配りすることを心がけさせた。気配りがないということは神経が散漫で、すべてに不注意、不用意だということだ。それがそっくりそのまま試合にも出る。サインの見落とし、見忘れだ。
- 能力とは別の、誰にでも出来る、誰もがしなくてはならない、お互いの声援とか、全力疾走とかバックアップの心がけを大切にした。
- 「大声」を出すこと。日常の挨拶でも口のきき方にしても、いつも「元気よく大声を出せい」と注意した。挨拶をきちんとしなさい。誰に対してもきちんと挨拶できなければ、わたしは人前でも怒鳴りつけたりする。
- 朝メシは毎日ちゃんと食わんと体が絶対弱くなる。「朝メシ抜いとった奴は罰金だからなあ。」
- 人間としての基本の厳守と徹底。すべてにわたって、「ことの善悪」、「いいか悪いか」を常に選手に考えさせるようにした。

『監督在任中の2年間、特別なことも華々しいこともやっていない。人が聞いたらびっくりするようなこと、ほかの監督さんが「そうか、それは驚いた。そりゃすごいぞ」というようなことは何一つやっていない。』星野元監督はそのように述べている。

しかしながら、「あたりまえのことをあたりまえのようにやり通すことほど難しいものはない。」と言う人は多い。星野元監督は、あたりまえはあたりまえでも、**超一流のあたりまえ**を自らに厳しく課して範を示すとともに、阪神タイガースの全選手にもそれを徹底させ、実行させたからこそ、めざましいチーム改革を成し遂げることができたのではないだろうか。今回のソフトボール大会の結果を振り返って、改めてそのようなことを実感した。



試合終了後、笑顔あふれるJSJティーチャーズのメンバー。

11月予定

1 1 月			部活	
日	曜日	主な行事予定	小	中
1	水	短縮時程 体重測定(小1～小4) 中学部国際交流受入(コタマサイⅡ校)		
2	木	児童生徒集会(生活目標) 体重測定(小5～中3) 小1校外学習 小56英会話授業参観 実力テスト(中3)		○
3	金		○	○
4	土			
5	日	第2回英検2次		
6	月	Ⅱお話の会		○
7	火	小4校外学習	○	
8	水	水泳授業日 小2研究授業(6校時)		
9	木	小クラブ⑥ 能楽教室(5校時小学部、6校時中学部)		○
10	金		○	○
11	土			○
12	日	日曜参観 図書バザー		
13	月	日曜参観振替休日		
14	火	Ⅰウィークリー自由参観 小たてわり活動(遠足)	○	
15	水	小学部国際交流訪問(スリアラムⅠ校) 中1職場訪問(パナソニック)		
16	木	小12校外学習 昆虫教室(5校時) 委員会⑩ 中学部定期テスト前部活動中止(この日から)		
17	金			
18	土			
19	日			
20	月	Ⅱ		○
21	火	小たてわり活動(遠足)	○	
22	水	水泳授業日 小4校外学習		
23	木	中期末テスト(中下校11:45) 小たてわり活動(遠足) 小クラブ⑦		
24	金	中期末テスト	○	○
25	土			
26	日			
27	月	Ⅰ		○
28	火	児童生徒集会(生活目標) のまりん紙芝居 ※中学部7校時なし(部活あり)	○	○
29	水	短縮時程		
30	木	小遠足 中2職場体験(ジャチハタ) ※中学部7校時あり(部活なし)		